

平成 2 4 年 9 月 猪 苗 代 町 議 会 定 例 会

町 長 所 信 表 明 要 旨

本 日 、

平成 2 4 年 第 4 回 猪 苗 代 町 議 会 定 例 会 を 招 集 い
た し ま し た と こ ろ 、 議 員 の 皆 様 に は 何 か と ご 多 用
の 中 、 ご 出 席 を い た だ き 、 ご 審 議 を お 願 い で き ま
す こ と に 対 し 、 深 く 感 謝 申 し 上 げ ま す 。

今 議 会 が 開 催 さ れ る に あ た り 、 平 成 2 3 年 度 歳
入 歳 出 決 算 の 認 定 を は じ め 、 平 成 2 4 年 度 一 般 会
計 補 正 予 算 案 な ど 、 重 要 な 議 案 を 提 出 い た し て お
り ま す の で 、 ご 審 議 を お 願 い い た し ま す と と も に 、
議 員 各 位 の ご 理 解 と ご 協 力 を お 願 い 申 し 上 げ る 次
第 で あ り ま す 。

提 出 議 案 の 説 明 に 先 立 ち ま し て 、 当 面 す る 町 政
の 諸 課 題 に つ き ま し て 、 所 信 の 一 端 を 申 し 上 げ た
い と 存 じ ま す 。

(こ の 一 年 を 振 り 返 っ て)

は じ め に 、 昨 年 6 月 2 6 日 の 町 長 就 任 か ら
1 年 3 ヶ 月 を 迎 え よ う と し て お り 、 こ の 間 に 多 く
の 町 民 の 皆 様 方 の ご 理 解 と ご 協 力 を い た だ き な が
ら 、 全 身 全 霊 ぜんしんぜんれい を 傾 け て かたむ 町 政 進 展 の た め 、 邁 進 を し
て ま い り ま し た 。 あ ら た め て 、 厚 く 御 礼 を 申 し 上

げる次第であります。

私が就任した当時は、東日本大震災の復旧・復興のさなかであり、特に本町の基幹産業であります観光産業は、原発事故の影響により、風評被害というよりは正に^{じつがい}実害というべき、大変深刻な状況にありましたので、まずは、風評被害払拭に取り組んでまいりました。議員各位をはじめとする多くの方々のご支援もあり、ようやくその回復の^{きざ}兆しが見えてきた所でもありますので、引き続いて本町の安心・安全と魅力を発信して、風評被害対策に全力を^{けいちゅう}傾注してまいる所存であります。

さて、町政の諸課題は^{たき}多岐にわたっております。私は、この困難な課題に自ら先頭に立って、立ち向かい、私の考える町政の原点である、「猪苗代町の活性化と発展」、「町民の暮らしを守り、未来への希望の持てる町づくり」を実現するために6つの宣言をいたしました。

一つは、町民総参加の開かれた町政を実現することです。

そのために、出前講座や町政懇談会をはじめ、小さな会合などのあらゆる会合に^{でむ}出向いて多くの町民の声を聞いて行政執行にあたってまいりました。また、監査委員、教育委員をはじめ、

各種行政委員会などへの女性の登用を積極的に行ってまいりましたので、今後も女性の行政への参加を推進してまいり所存であります。

二つ目は、健全でわかりやすい行財政基盤を確立することです。

道の駅の整備については、町財政負担を勘案し、道路管理者である県と町との「一体型」で建設することや陸上競技場等の整備はT^とO^とT^とO^とのスポーツ振興助成金、旧県立病院舎改修の県補助金の活用など最善の助成制度の導入を図りながら、起債の償還と借入のバランスを保ち、健全財政の構築を今後とも進めてまいります。

三つ目は、観光と農商工業が一体となった、活気ある町づくりを進めることです。

企業誘致については、いくつかの企業からの引き合いがございましたが、残念ですが、誘致に^{いた}至っておりません。今後も、機会あるごとに本町の魅力を発信しながら誘致活動を推進して、雇用の確保を図ってまいります。農業収入の安定と地場産品の生産力の強化を図りながら、観光と^{のうしょうこう}農商工連携による地域産業の活性化については、現在進めております道の駅をこの事業の拠点施設として整備すべく、用地確保のための関係者と話し合いを進める一方、地域振興施設の整備につ

いては、国の農山村漁村活性化プロジェクト支援交付金や社会資本整備総合交付金等の導入などを念頭に置いて、基本計画と合わせて検討している所であります。

四つ目は、町民の安全・安心な生活を守ることです。

この度の東日本大震災の教訓を基に、災害時の緊急対応システムの構築として、携帯電話への一斉防災メールの導入、町システムデータバックアップ多重化、避難所の備蓄品の常備化や避難誘導システム等を整備してまいりました。更に地域防災計画の見直し、特に災害時の初動期の対応マニュアル化の導入を検討しているところであり、また、静岡県三島市との友好都市締結と併せて、防災援助協定の締結が可能であるかの検討など、防災対策の充実を図ってまいります。

五つ目は、少子化・高齢化対策などきめ細やかな福祉体制を作ることです。

保育所・幼稚園の一元化による幼児教育の充実を図るため、子育て支援、良好な教育環境の提供などの視点から猪苗代駅近くに川西子ども園を整備することとし、用地の確保にあたっております。会津バスの跡地利用は、観光振興、農業振興や子育て支援のための施設として整備すべく、

庁内において検討してまいる所であります。

今後も、子育て支援など町民福祉の充実を図ってまいります。

六つ目は、地域を担う豊かな人づくりを進めてまいります。

スポーツ振興を通して、将来を担う子どもたちが夢と希望が持てる町づくりとして、陸上競技場全天候型改修による公認施設への整備、野球場の芝生化などの施設整備を通してスポーツの振興と併せて誘客事業として合宿の里づくりを推進し、風評被害の払しょくを図る一方、民間事業者との連携をも図りながら「スポーツ」と「野外教育」をキーワードに年間を通して大型スポーツイベントを誘致して、スポーツの町猪苗代を発信してまいる所存であります。

以上、この一年余りに取り組んでまいりました施策の一端を述べましたが、まだまだこれらの実現のためには時間を要するものもありますが、何より、町民各位、議員各位の更なるご支援とご理解を賜りながら、人が、自然が、歴史と文化が、そして未来が耀く猪苗代の実現に向かって取り組んでまいる所存であります。

(東日本大震災について)

次に、東日本大震災について申し上げます。

震災から１年６か月が経過いたしました。

しかし、原子力災害により避難を余儀なくされている１６万人の方々を始め、多くの県民の皆さんがそれぞれ、困難の中で毎日を送っております。早い時期にふるさとへの帰還が出来ますことを
ねんがん
念願している所であります。

本町では、風評被害からわずかながら回復の
きざ
兆しが見えているもののまだまだ震災以前までに回復するのには時間を要するかもしれません。しかし、福島元気は会津からと言われ、特に猪苗代からその元気を発信しなければ福島が元気にならないとも言われております。そのため猪苗代町風評被害対策計画を策定して、県と連携を強化して総力を挙げてこの対策を実施してまいります。

町内には現在、相双地区を中心に２７８名の方々が避難生活を余儀なくされておりますので、県と連携して町営・町設住宅の一年延長や相談窓口や情報提供など様々な対策を展開してまいります。

除染については、猪苗代町除染計画に基づいて、川上地区、千貫地区、市沢地区につきましては、５月に日本原子力研究開発機構（ＪＡＥＡ）の

協力を受けながら、放射線に関する知識と除染方法等について、研修し、除染を実施したところであります。

6月には、中ノ沢地区を地区住民との協働で実施してまいりました。今のところ高い^{あた}い値の^{きょくぶてき}局部的な個所の除染要望はありませんが、これまで同様に機会あるごとに広報してまいります。

この他、町内公共施設等の除染の状況は、都市公園は6月に完了しており、吾妻幼稚園、吾妻小・中学校及び中ノ沢保育所の除染は9月中旬頃に実施することにしております。

除染については、町民理解の促進や除染業務に従事する人材の育成、効果的な除染技術の導入などを図りながら、今後とも引き続き除染に取り組んでまいります。

町民の健康を守るための取組につきましては、引き続き、県民健康管理調査において最も重要な基本調査を推進するため、引き続き調査の重要性や調査方法の理解促進を、県と連携して強力に進めてまいります。

また、全国初の取組となる18歳以下の医療費無料化を10月から開始することとし、子どもの健康を守り、安心して子どもを生み、育てやすい環境づくりに取り組んでまいります。

さらに、小中学校、保育所や幼稚園における給食検査体制の強化、健康への理解促進・相談機能の強化など未来を担う子どもたちの生活環境の向上に努めてまいる所存であります。

原子力損害賠償につきましては、応急対策基金を活用して、県が独自に県南、会津、南会津地域のブランド・イメージの回復に向けた活動を支援するための給付金を支給することに伴い、本町では、7月1日から申し込みを開始し、8月末までに、15,526人の全体の約94.2%まで支給をしており、まだ申請されていない方々に対して個別に啓発するなど、早期の支給を進めてまいります。

また、被災者が将来の生活を考える上で必要な、賠償期間や基準の問題については、原子力損害対策協議会が一丸となって、東京電力に対して緊急要求を実施し、一部前進した回答を引き出された所であります。本町でも、「国の指針における地方公共団体が被った損害にかかる考え方等について」に基づいて、この原子力災害で支出した風評被害対策経費や農産物検査経費、除染に要した経費、町民の健康管理など、この事故が起これなければ支出する必要のないすべての経費を東京電力に対して損害賠償請求を

すべく、全庁的に取り纏めをし、早い時期に請求をしてまいりたいと考えている所であります。

町内の企業の原子力損害の損害賠償請求については、これまでどおり毎週木曜日に町商工会において東京電力原子力相談室による相談会を開催すると共に町民への周知を図り、損害賠償請求の漏れがないよう徹底してまいります。

被災がれきの受け入れについては、本年度はとりあえず終了することにいたしました。しかし、未だに諸事情により取り壊しが出来ない被災建物等がありますことから、今後は個別の状況や事由等について調査し、対処することといたします。なお、7月20日までの搬入量は、234件で木質系が1,683トン、金属系が31トン、コンクリート等が4,163トン、その他不燃物等が900トンの合計6,746トンとなっております。

(地域防災計画の見直しについて)

地域防災計画の見直しについて申し上げます。

政府の事故調査・検証委員会の最終報告書が公表され、「国も事業者も深刻過酷な事故は起こり得ないという安全神話にとられていたゆえに危機を身近で起こりえる現実のものと捉えられなくなっ

ていた。」と報告しております。

具体的には、組織のあり方、関係機関との連携窓口の整備、通信伝達手段の多重化、複合災害における避難者支援、情報共有などが指摘されております。

本町といたしましても、これまでに経験したことのない東日本大震災に対応する中で、情報通信手段の確保、住民の避難対策、物資の調達・供給など、初動対応における課題が明らかになっており、これらを踏まえて、地域防災計画の見直しや組織体制の在り方の検討に加えて、活火山である磐梯山の災害対策についても、火山警報レベル化に対応した見直しを行う必要があります。

災害時では、「的確な判断」、「スムーズな行動」が求められ、特に災害の初動期（一般的には発生から72時間）における町職員など関係者の行動が重要であると言われております。そのため、地域防災計画の実効性を担保するため、初動期における対応手順等を示したマニュアルとして、「初動行動マニュアル」、「職員災害対応マニュアル」、「避難所開設マニュアル」、「要援護者対応マニュアル」、「ボランティア受入マニュアル」、「観光客対応マニュアル」などを先んじて整備しておく必要があると考えておりますので、猪苗代町防災会議での

議論や調査研究を行いながら、町民の安心・安全の確保が図られる防災力の高いまちづくりを目指してまいりる所存であります。

（風評被害対策について）

次に、風評被害対策について申し上げます。

本町への観光客入込については、県外からの教育旅行などの団体はまだまだ厳しい状況にあるものの震災前の7割程度まで回復しており、今後の秋の紅葉やNHK大河ドラマ「八重の桜」などが全国から注目されるので、新たに本町を訪れてもらう施策を講じて、観光客の増加を図ってまいります。

これまで、首都圏などを中心に物産展や観光キャンペーン、イベントの開催等を通して、猪苗代の安全・安心をPRしながら誘客活動を展開してまいりました。特に、静岡県三島市との交流は、市議会議員の訪問を受けるなど親密な交流に発展しており、今後も様々な交流を展開することにしており、長野県伊那市と同様にその「絆」を深めてまいりる所存であります。

風評を払拭するには、本町を訪れていただくことが一番であると考えており、そのためのイベントの開催、スポーツイベントの誘致などを通して

猪苗代の元気を発信してまいります。

今年の復興花火大会は、「絆」をテーマに、「子ども達に希望の花火を見せてあげたい」との多くの方々の協賛により開催し、感動と元気を与えることが出来ました。

9月には、神奈川県横浜市におきまして、「野口英世博士展」と併せて観光PRと物産展の開催、町内では約4,000人の来場者を集めて開催する「風とロック芋煮会 in 猪苗代湖」をはじめとして、ロンドンオリンピック銅メダルを獲得した日本女子バレーボールの選手が所属する「久光製薬スプリングス」によるバレーボール教室や公開練習、エキシビションマッチの開催、更には「猪苗代湖マラソン」「磐梯高原国際音楽祭」「ノルデックウオーク」など多くのイベントを開催してまいります。

10月には、東京池袋のお祭りに参加して観光PRと物産展を、町陸上競技場全天候型改修のこけら落とし記念事業として町民大運動会などを予定すると共に、昨年開催された「猪苗代湖ハーフマラソン2012」を磐梯山と猪苗代湖が織りなす雄大で美しい景観を満喫できる新たなコース設定をして開催されます。これらのイベントと同時に本町の食の安心・安全とおもてなしの心を発信する

とともに、福島の元気・猪苗代の元気を発信して
まいる所存であります。

1 1 月からは、冬季猪苗代観光商品券による誘
客事業と新そば祭りなど民間事業者や関係団体と
連携を図りながら、冬の誘客へと結び付けてまい
ります。

(使用料の減免の見直しについて)

次に猪苗代町公の施設に係る使用料及び減免規
則の見直しについて申し上げます。

町内の公の施設に係る使用料については、それ
ぞれの施設の条例で料金を定めておりますが、使
用単位を半日単位としている施設と一時間単位と
している施設があったことから、利用者の利便性
を向上させるため、平成23年4月より使用単位
を全て一時間単位とした改正をしたところであり
ます。また、体育施設の使用料については、使用
料も均一的に改正するなど、より利用しやすい制
度への改善を図ったところであります。

さらに、使用料の減免についても、各施設の条
例及び規則で定めているところではありますが、各
施設の設置目的や設置時期が異なることから、使
用料減免の基準が不均一になっているため、使用
者間の不公平感、使用しない方との公平性が保て

ないこと、受益者負担の原則などの視点から使用料の減免は統一された基準で適正に行わなければなりません。

このことから、猪苗代町公の施設の使用料減免規則を定め、平成24年10月1日から施行することにしております。

主な対象施設は、猪苗代町体育施設、学校施設、農村環境改善センター、都市公園施設であるカメリーナ、学びいな等の施設であり、基本的な方針としては、これまで、「国、県、他の地方公共団体」や「町が育成組織する団体」の全額免除を廃止するとともに、どの団体がどの施設を使用しても減免基準は変更せず、料金の統一化を図るものであります。

具体的な減免基準としては、町の公共・公益事業、学校教育事業、町が参画する実行委員会・協議会、町内スポーツ少年団、PTAの利用等については、これまで通り全額免除といたします。

また、カメリーナスポーツクラブ及びその加盟団体、町が育成組織する団体、町内の社会奉仕・福祉関係団体等については、三分の二の減免といたします。

なお、町及び教育委員会が後援、協賛する事業は二分の一減免といたします。

加えて、新たに町内に事業所を置く企業等が福利厚生のために実施する事業についても三分の一の減免を行うこととし、町民の皆様方がより利用しやすい環境の整備に努めてまいります。

また、利用者のご負担を軽減するため、この改正により、新たに使用料を徴することとなる施設については、平成24年度にかぎり、本来負担額の二分の一とする経過措置を設けて対処し、施設の設置目的に沿って、住民の福祉を増進するとともに、より適正な維持管理を行ってまいり所存であります。

（農業情勢について）

次に農業情勢について申し上げます。

本町農業の基幹作物であります水稻の生育状況は、6月下旬と7月中旬の低温のため、生育が若干遅れ気味でありましたが、7月下旬からは好天に恵まれ、おおむね順調に推移していることから、国の8月の水稻の作況概況のとおり、県内は103の「やや良」と予測されており、平年並み以上の収量を期待しているところであります。

しかし、東日本大震災の影響により作付面積は依然として減少しているものの、予想収穫量に在庫量を加えると国の需要量見通しを上回り、「やや

過剰」と予想されているところであり、消費者のコメ離れと相まって、米価の下落が懸念されますので、米消費拡大などをＪＡとの連携を図りながら推進してまいります。

なお、本年度の農業者戸別所得補償制度への加入状況であります。集落推進員のご協力と農家の方々のご理解により、生産農家のほとんどの方が加入されましたので、コメ価格減少の補てんが受けることが可能となっている所であります。

（米の全量全袋検査について）

東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏出事故による農産物等の汚染問題は、我々が生産する食に対する信頼性をも揺るがせております。

私たちの主食である米につきましては、県が昨年１０月に実施したモニタリング検査で、県内４８市町村から千点以上を検査した結果、そのすべてが基準値以下であったことから、県はいち早く「安全宣言」を行いました。その後、県北のＪＡの自主検査から基準値を超える放射性物質が検出され、「福島の米」に対する信頼性は大きく失った所であります。

そのため、県は、「福島の米」に対する信頼回復に向けて、県内で生産される米の全てについて、

その生産情報に加えて放射性物質の検査結果についても消費者の方々に目に見える形の情報を提供するため、「ふくしまの恵み 安全・安心推進事業」として、県の管理の下、飯米や縁故米も含めた米の全量全袋検査を行うこととしたものであります。

限られた期間のなかで30万袋から35万袋を確実に検査を行い、スムーズな出荷が行われるよう、JAあいづと連携して、消費者の方々に安全な米を安心して食べていただけるよう、万全の検査体制で臨んでまいり所存であります。

（雇用情勢について）

「ハローワーク会津若松」の8月月例報告によりますと、本年6月の月間有効求人倍率は、全国が0.82倍、福島県内が1.01倍、会津若松管内が0.79倍となり、前年比では、28ヶ月連続の上昇となっており、震災復興の下、建設業を中心に有効求人数が増加しているためであります。しかし、町内雇用状況については、依然として厳しい状況にあることから、「猪苗代町新規学卒者等就職支援奨励金」を活用した新卒者雇用の促進に努めているところであります。

また、来年3月卒業の「高等学校卒業予定者」を対象とした求人状況は、前年度から大幅な求人

があり、少し改善される傾向にありますので、一人でも多くの高校生が会津地域、そして町内へ就職できるよう企業に積極的に働きかけをしてまいります。

県は、東日本大震災等により悪化した雇用情勢改善のため、研修や職場実習を通して就労に必要な知識・技能を習得させるため「成長産業等人材バンク事業」を本年８月にスタートしたことから、本町においてもこの事業を活用して、雇用保険受給期間満了者への再就労支援を推進してまいります。

（提出議案）

最後に、本定例会に提出いたしました議案について申し上げます。

提出いたしました案件は、

平成２３年度決算の認定案件が３件

平成２４年度補正予算案件が１３件

条例の一部改正案件が１０件、

人事案件が５件の計３１件であります。

まず、認定第１号「平成２３年度猪苗代町歳入歳出決算の認定について」であります。一般会計及び特別会計に係る決算書と監査委員の「平成

２３年度猪苗代町各会計決算及び各基金運用状況審査意見書」と「平成２３年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく審査意見書」を添えて提出しております。

また、一般会計及び特別会計の会計別概要につきましても、別に提出しております「平成２３年度決算にかかる主要な施策の成果実績概要書並びに基金運用状況報告書」のとおりであります。

決算の内容につきましては、会計管理者に説明いたさせますので、何卒ご認定賜りますようお願い申し上げます。

次に、認定第２号「平成２３年度猪苗代町病院事業会計決算の認定について」及び認定第３号「平成２３年度猪苗代町水道事業会計決算の認定について」であります。各々の決算書と監査委員の「歳入歳出決算の審査意見」と「平成２３年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく審査意見書」を添えて提出しております。

決算の内容につきましては、保健福祉課長及び上下水道課長に説明いたさせますので、何卒ご認定賜りますようお願い申し上げます。

同意第３号「猪苗代町教育委員会の委員の任命

につき同意を求めることについて」でありますが、
猪苗代町教育委員会委員の土屋重憲氏が平成24
年9月30日をもって任期満了となりますので、

猪苗代町大字壺楊字壺下38番地

土屋重憲氏

を適任と認め任命したいので、同意を求めるもの
であります。

同意第4号「猪苗代町教育委員会の委員の任命
につき同意を求めることについて」でありますが、
猪苗代町教育委員会委員の山本明子氏が平成24
年9月30日をもって任期満了となりますので、

猪苗代町字新町4925番地

浅井紘子氏

を適任と認め任命したいので、同意を求めるもの
であります。

同意第5号「猪苗代町固定資産評価審査委員会
の委員の選任につき同意を求めることについて」
でありますが、

猪苗代町固定資産評価審査委員会の委員 氏田勝
氏が平成24年9月30日をもって任期満了とな
りますので、

猪苗代町大字磐里字上ノ上243番地Ⅰ

うじ た まさる
氏 田 勝 氏

を適任と認め選任したいので同意を求めるものであります。

同意第6号「猪苗代町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて」でありますが、

猪苗代町固定資産評価審査委員会の委員 ^{すずき}鈴木
^{てるお}輝男氏が平成24年9月30日をもって任期満了となりますので、

猪苗代町大字磐根字東向1700番地24

^{すずき}鈴木 ^{てるお}輝男氏

を適任と認め選任したいので同意を求めるものであります。

同意第7号「猪苗代町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて」でありますが、

猪苗代町固定資産評価審査委員会の委員 ^{わたなべ}渡部
^{けんいち}賢一氏が平成24年9月30日をもって任期満了となりますので、

猪苗代町大字川桁字長町3484番地

^{なが}長 ^{さわ}澤 ^{かず}一 ^お夫氏

を適任と認め選任したいので同意を求めるもので

あります。

以上、提出案件につきまして、ご説明申し上げましたが、各議案の細部につきましては、それぞれ所管の課長に説明いたさせますので、慎重にご審議のうえ、速やかなご議決を賜りますようお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

以 上